



瞬時に出てきたカレット

社会科の授業は、いつも子どもたちがスタートさせます。

「名古屋市！」「瀬戸市！」「師崎！」「一宮！」

地図帳から愛知県内の任意の市町村名を言い、それを見つけていく「地名探し」という学習です。

続けることによって、子どもたちは愛知県内の市町村を実にスムーズに見つけ出せるようになってきました。

特に、主要都市や身近な市町村だと、その速度は凄まじいものがあります。続けて、「都道府県フラッシュカード」。

これも続けることで自然と都道府県の形や位置を覚えていきます。

さらに、「略地図」の学習へと続きます。

これは、都道府県を各地方ごとに簡略な形に書き表し、そこに自分で県名を書き込めるかを確認していくテストです。

県名に合格した子は、「県庁所在地」、「有名なもの」と難度を上げてステップアップしていく仕組みです。

その後は、「ミニテスト」の学習へと続きます。

- ① 家庭から出たごみを集める車を何という？
- ② 集められたごみを燃やして灰にする場所は？
- ③ 燃やした後の灰を埋め立てる場所は？
- ④ ゴミを減らすためにできる取り組みを思いつく限り書きましょう。
- ⑤ ゴミを燃やすときに出的熱は、どんなことに利用されている？

こうした基礎的な知識に一問一答で答えていく学習です。

地名も、県の位置や形も、県庁所在地や有名なもの、さらに各単元の基礎

的な学習内容などは、社会科の学びを積み重ねていくうえで必須の「知識」です。

各教科で学ぶ「知識」は様々にあります。

その中で、各学年において「全員に確実に習得させたい知識」を確定しておくことは、極めて大切なことです。

例えば小学校の社会科学習（3年～6年）においては、次のような知識の習得は、一人の例外もなく全員の子どもに保障したいものです。

- 主な地図記号を 10 個程度
- 主な年号を 10 個程度
- 主な歴史上の人物名を 10 個程度
- 47 都道府県の場所
- 47 都道府県の県庁所在地

他にもありますが、このようなごく基本的な知識は、社会科学習を進めていく上で習得する（覚えていく）事が前提となります。

これらを習得することは、より高次の内容を学んでいく礎となるだけでなく、学習に意欲的に取り組む子どもたちの姿を生み出していくことにつながっていくからです。

例えばこの中で、地図記号を例にとります。

「10 個」を覚えさせたいとした時に、それではどの 10 個を覚えさせるのか。これを確定させていく必要があります。

まずは、全体を知っておかなくてはなりません。

国土地理院によれば、現在使われている地図記号は全部で 161 種類。

これを、次はジャンルに分けます。

線路や道路などの「交通関係」。

学校や消防署などの「建物関係」。

田や果樹園などの「地域関係」。

などなど、これもまたいくつかに分けられます。

この中から、小学生段階のうちに必ず身につけさせたい 10 個とは何かを絞っていきます。

つまり、全体を確定し、ジャンルに分け、必要なものに絞り込んでいく段階を経た上で、「どの子にも習得させたい内容」を決めていく必要があるということです。

これは、社会科の例ですが、他教科においても、どの子にも習得させたい

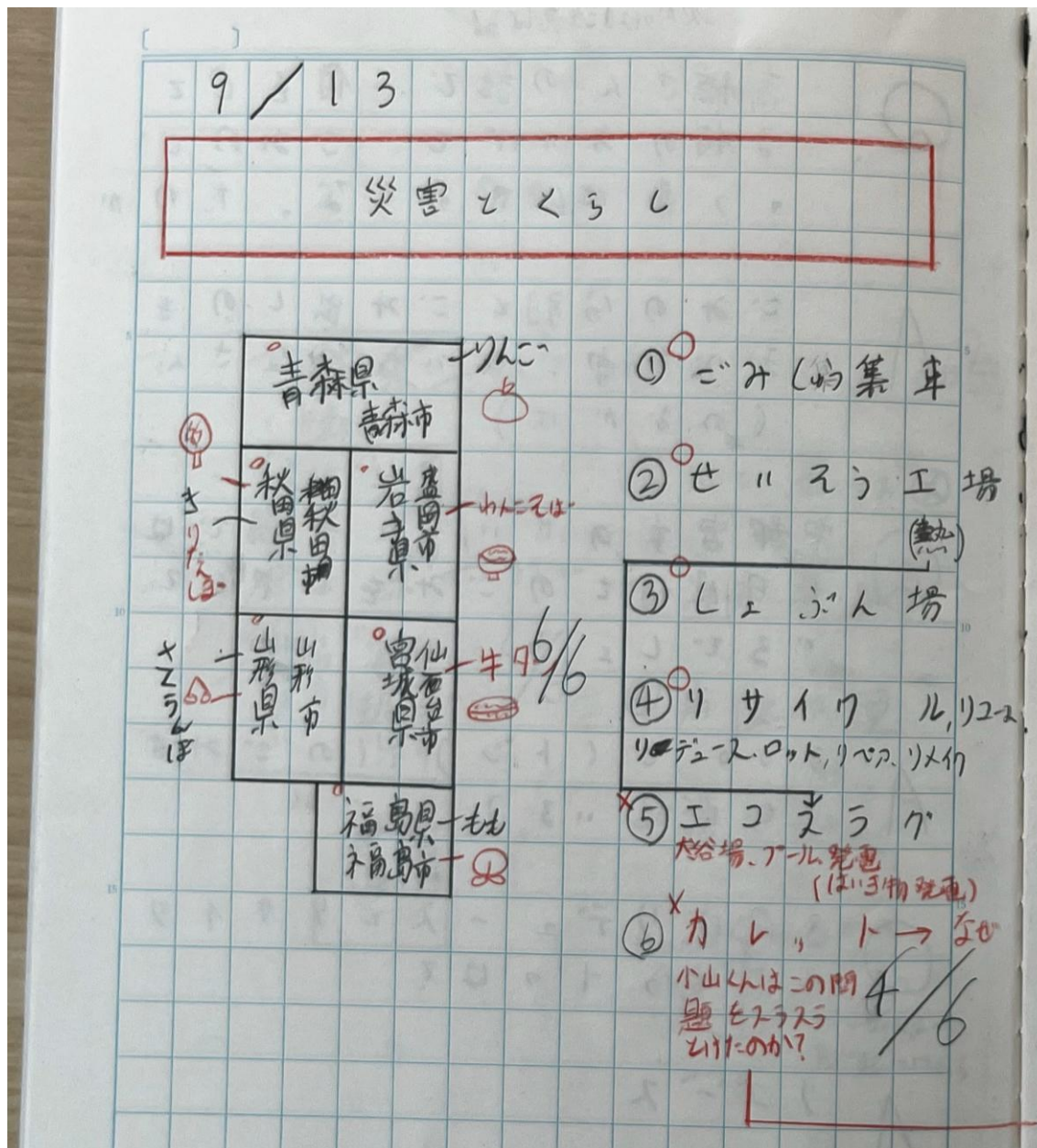
基本的な内容を吟味し、確定しておくことは極めて重要です。

そうした思想を持って指導しているか、持たずに指導しているかは、実は授業を見ればハッキリします。

と、ついつい熱くなってしまいました。

ここまで書いてきた内容などから、社会科の時間は冒頭の 5 分程を使ってここに書いてきたような学習を行っているということです。

ちなみに、わずか 5 分ほどでノートはこうなります。



この日、ミニテストの最後の問題に出したのは次の問題でした。

「びんをリサイクルするときは、初めにガラスを細かく砕きます。この、細かく砕いたものを何と言いますか？」

毎回、最終問題は難問です。

この問題も、かなり難しいものをチョイスしました。

しかし、あっという間に解いた子たちもいます。

その筆頭が小山くんでした。

「これ、絶対の自信がある」

そんな声も聞こえました。

正解は、「カレット」。小山君は見事に正解でした。

そこですかさず、私は問いました。

小山くんはなぜ、この問題をあっという間に解くことができたのでしょうか。

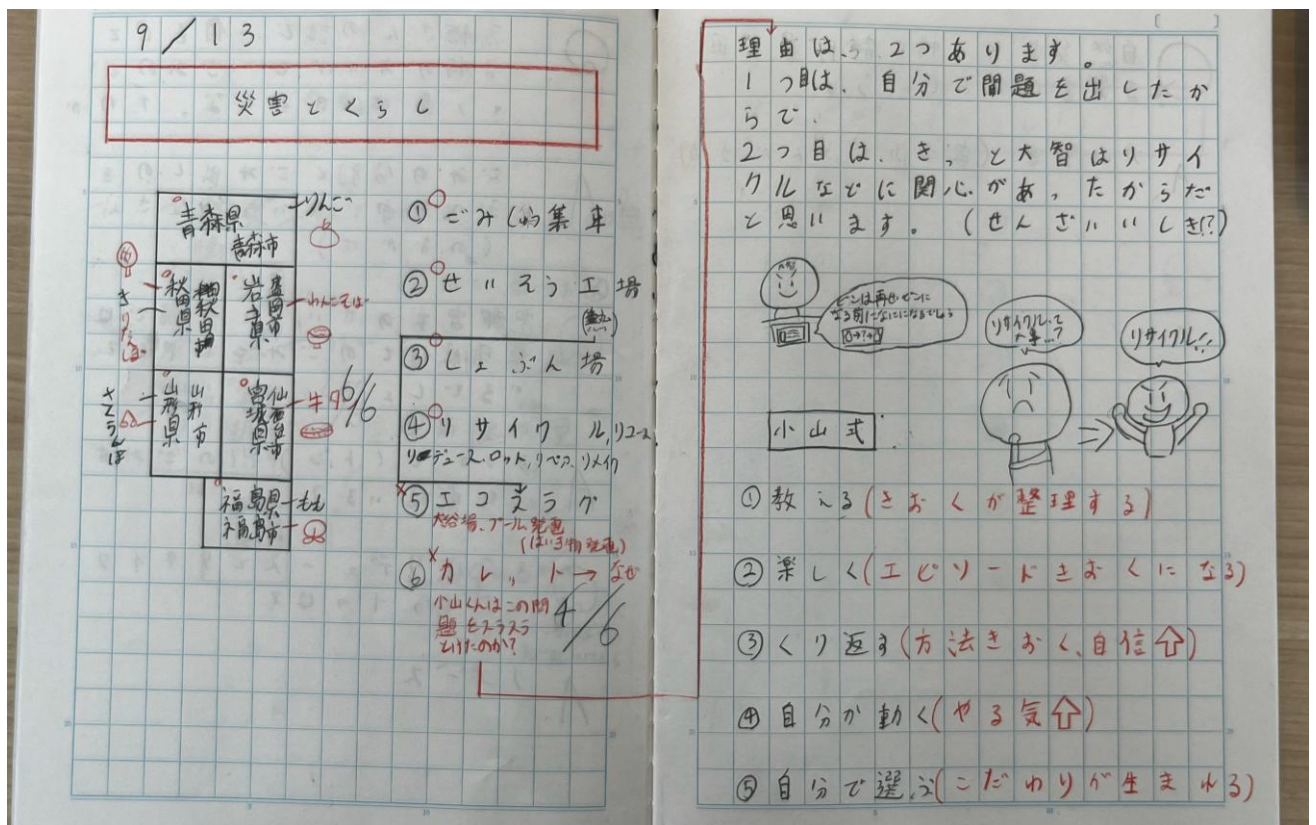
子供たちは、次々に答えました。

「自分で問題を作ったから」「楽しく勉強をしていたから」

「何度も繰り返して勉強したから」「自分から行動したから」

こんな風に、友達の姿をモデルとして、「学びのコツ」を得られるのも、学校でみんなが勉強しているからこそ、です。

この日も、素敵な学びを得ることができました。



☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

